

令和6年(上半期)

消防活動概要

(火災・救急・救助他)

丹 波 市 消 防 本 部

目 次

消防活動総括表	1
1 火災の概要	2
(1) 火災状況（前年との比較）	3
(2) 地域別火災状況	4
(3) 5年間（上半期）の火災の推移	5
(4) 月別・地域別・火災種別状況	5
(5) 曜日別火災状況	6
(6) 時間別火災状況	6
(7) 火災原因状況	7
(8) 火災覚知状況	7
2 救急の概要	8
(1) 事故種別救急出動状況	9
(2) 5年間（上半期）の救急出動の推移	9
(3) 地域別救急出動状況	10
(4) 事故種別・救急隊別救急出動状況	10
(5) 月別救急出動状況	11
(6) 曜日別救急出動状況	11
(7) 時間別救急出動状況	11
(8) 事故種別・傷病程度別搬送状況	12
(9) 収容先別搬送状況	12
(10) 年齢別搬送状況	12
(11) 覚知から現場到着までの所要時間	13
(12) 覚知から病院収容までの所要時間	13
(13) 応急（救命）処置状況	14
(14) 心肺停止傷病者発生状況	14
(15) 応急手当の実施状況	14
3 救助の概要	15
(1) 救助出動状況	15
(2) 5年間（上半期）の救助出動の推移	15
4 その他の災害出動の状況	16
5 応援・受援状況	16
6 緊急通報センター等	16

消防活動総括表

(単位:件)

区 分	種 別	令和6年上半期	令和5年上半期	比較 (△:減少)
火災 件数	総 数	18	18	0
	建物火災	10	12	△ 2
	林野火災	1	0	1
	車両火災	2	1	1
	その他の火災	5	5	0
救急 出動件数	総 数	1,740	1,828	△ 88
	火 災	6	4	2
	交通事故	93	112	△ 19
	一般負傷	266	284	△ 18
	急 病	1,158	1,177	△ 19
	転院搬送	145	196	△ 51
	上記以外	72	55	17
救助 出動件数	総 数	35	28	7
	火 災	0	0	0
	交通事故	6	7	△ 1
	水難事故	1	1	0
	機械事故	2	1	1
	建物事故	19	12	7
	上記以外	7	7	0
その他の災害 出動件数	総 数	65	102	△ 37
	警 戒	6	12	△ 6
	誤 報	9	17	△ 8
	虚 報	0	0	0
	支 援	39	68	△ 29
	その他	11	5	6
応援 受援	市外応援	1	4	△ 3
	市内受援	5	2	3

1 火災の概要

令和6年上半期の火災件数は18件（前年同期と同数）である。

火災の種別では、建物火災10件（前年同期より2件減）、林野火災1件（前年同期より1件増）、車両火災2件（前年同期より1件増）、その他火災5件（前年同期と同数）であった。

損害額は64,864千円（前年同期より36,489千円増）、焼損床面積は909㎡（前年同期より521㎡増）、焼損棟数は20棟（前年同期より7棟増）、り災世帯数は10世帯（前年同期より3世帯増）で、り災人員は27人（前年同期より12人増）であった。火災による死者は1名（前年同期と同数）、負傷者は3名（前年同期より1名増）である。

火災の発生原因は、焼却火4件、灯明、煙突、石油ファンヒーター、石油ストーブ、薪ストーブ、炉、集塵機、火のついた練炭、石油バーナー、器具付きコード及び積算電力量計が各1件、不明が3件であり、焼却行為により火勢が拡大し火災に至ったものが他と比べて多い。

今後も消防団や関係機関との連携を強化するとともに、火災予防の啓発活動を積極的に行い、市民の防火意識の高揚を図り、火災の発生時には初動体制の確立として、初期消火、避難誘導及び消防機関への通報を徹底するよう指導し、火災の減少と被害の軽減に努めていかなければならない。

火災状況(前年との比較)

区 分 \ 年 別			令和6年上半期	令和5年上半期	比較増減 (△:減少)
火災件数	総 数		18	18	0
	建物火災		10	12	△ 2
	林野火災		1	0	1
	車両火災		2	1	1
	その他の火災		5	5	0
焼損棟数	総 数		20	13	7
	全 焼		8	4	4
	半 焼		0	1	△ 1
	部 分 焼		6	1	5
	ぼ や		6	7	△ 1
焼損面積	建物床面積 (㎡)		909	388	521
	建物表面積 (㎡)		50	23	27
	林野 (a)		3	0	3
死傷者	死 者		1	1	0
	負 傷 者		3	2	1
り災世帯	総 数		10	7	3
	全 損		5	3	2
	半 損		0	2	△ 2
	小 損		5	2	3
り 災 人 員			27	15	12
損 害 額 (千円)			64,864	28,375	36,489
損害額内訳	建 物	建 物	37,580	26,975	10,605
		収 容 物	26,909	1,279	25,630
		小 計	64,489	28,254	36,235
	林 野		0	0	0
	車 両		312	103	209
	そ の 他		63	18	45

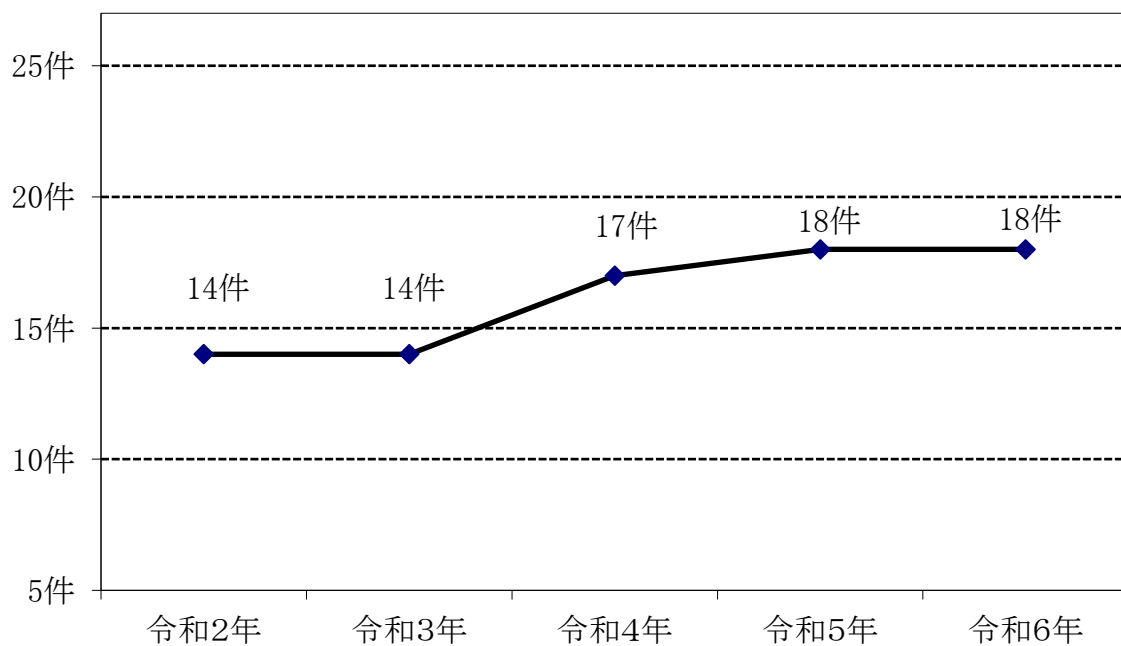
※損害額500円未満を「0」としている

地域別火災状況

区分			地域別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
火災件数	総 数		18	2	3	1	4	4	4	
	建物火災		10	2	2	1		2	3	
	林野火災		1				1			
	車両火災		2				1	1		
	その他の火災		5		1		2	1	1	
焼損棟数	総 数		20	3	6	1	0	3	7	
	全 焼		8	2	2			1	3	
	半 焼		0							
	部 分 焼		6		2	1		1	2	
	ぼ や		6	1	2			1	2	
焼損面積	建物床面積 (㎡)		909	234	192			188	295	
	建物表面積 (㎡)		50		16	6		10	18	
	林野 (a)		3				3			
死傷者	死 者		1	1						
	負 傷 者		3		1			1	1	
り災世帯	総 数		10	1	2	0	0	2	5	
	全 損		5	1				1	3	
	半 損		0							
	小 損		5		2			1	2	
り 災 人 員			27	4	6			4	13	
損 害 額 (千円)			64,864	33,994	5,961	1	33	9,197	15,678	
損害額内訳	建物	建 物	37,580	10,957	4,534	1		7,633	14,455	
		収 容 物	26,909	23,037	1,426			1,229	1,217	
		小 計	64,489	33,994	5,960	1	0	8,862	15,672	
	林 野		0							
	車 両		312				7	305		
	そ の 他		63		1		26	30	6	

※損害額500円未満を「0」としている

5年間(上半期)の火災の推移



月別・地域別・火災種別状況

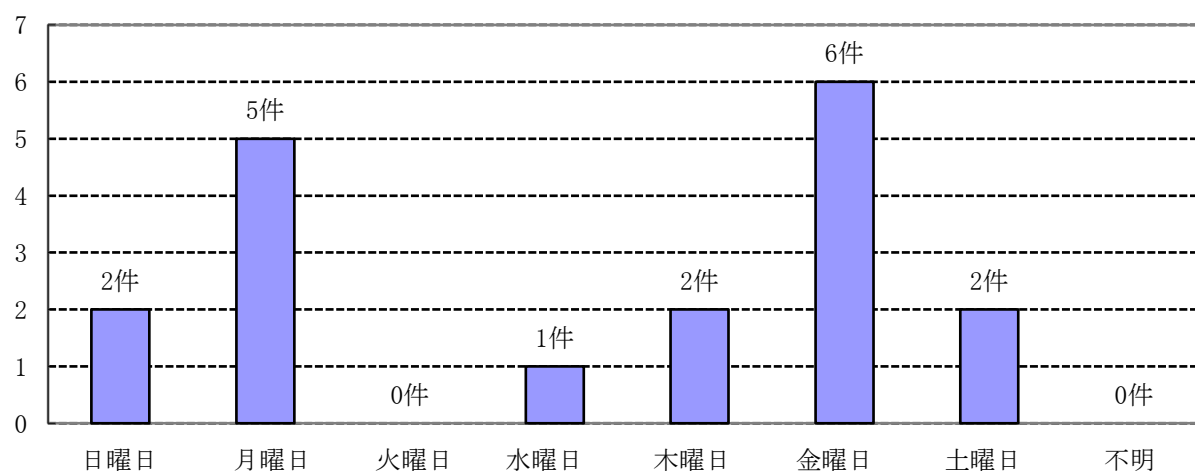
(単位:件)

月 別		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月
区 分								
総数		18	5	2	6	2	2	1
地域別	柏 原	2	2					
	氷 上	3			1		1	1
	青 垣	1					1	
	春 日	4			3	1		
	山 南	4	1	1	1	1		
	市 島	4	2	1	1			
火災種別	建 物	10	5	2	1		2	
	林 野	1			1			
	車 両	2			2			
	その他	5			2	2		1

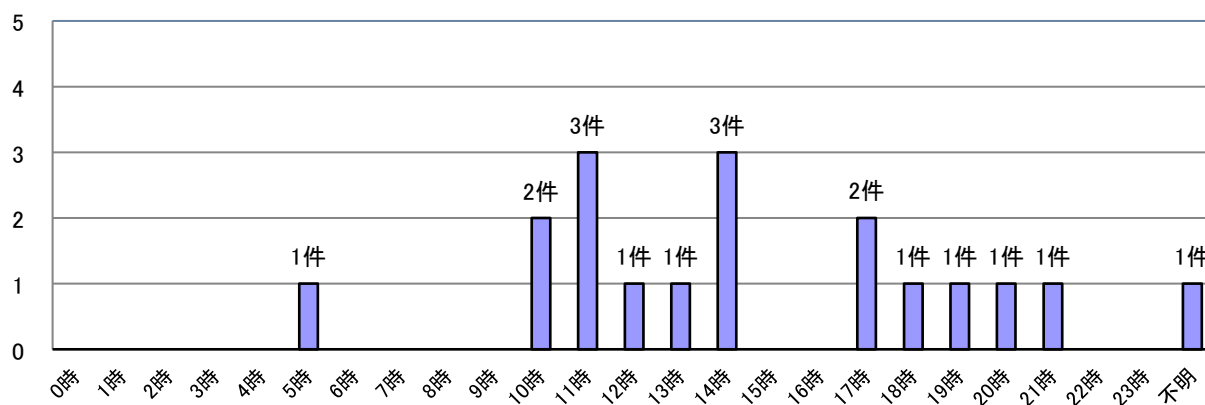
曜日別火災状況

(単位:件)

曜日別 地域別	総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明
総 数	18	2	5	0	1	2	6	2	0
柏 原	2		2						
氷 上	3						2	1	
青 垣	1					1			
春 日	4	1					2	1	
山 南	4	1	1				2		
市 島	4		2		1	1			

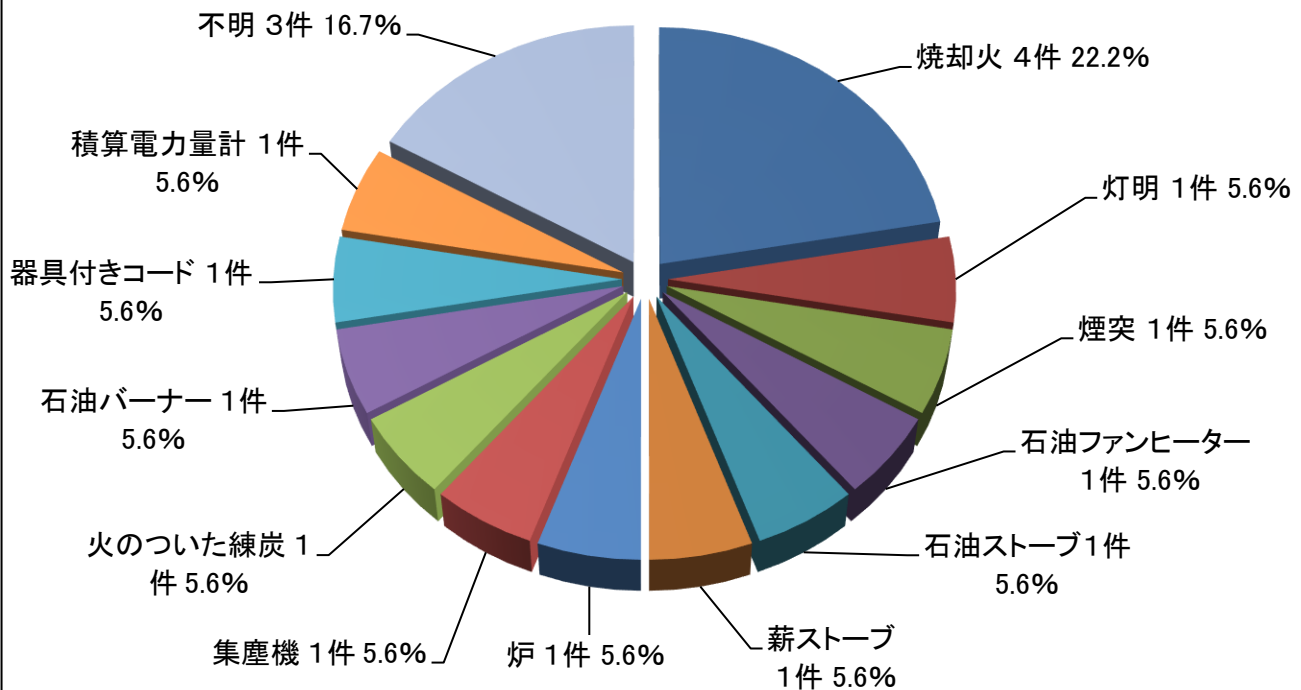


時間別火災状況



火災原因状況

火災件数18件



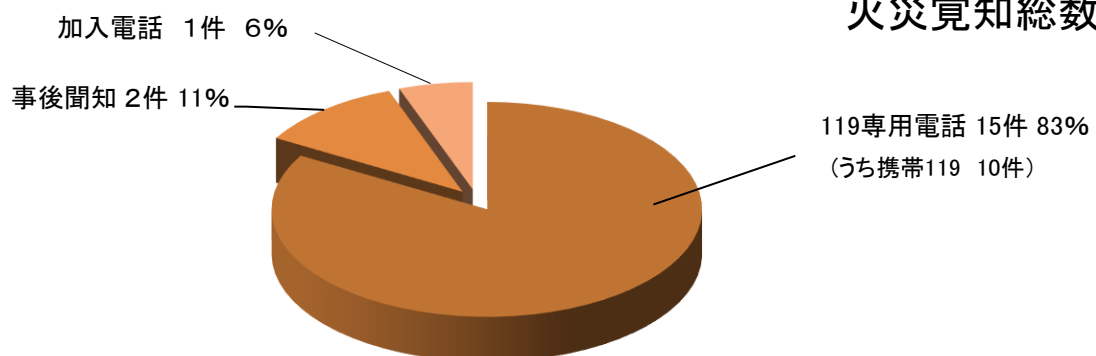
火災覚知状況

(単位:件)

地域別 覚知別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
総 数	18	2	3	1	4	4	4
専用電話(119)	15	2	2	1	2	4	4
携帯119(内数)	10	1	1	1	1	3	3
加入電話	1				1		
警 察	0						
駆け付け	0						
事後聞知※	2		1		1		
その他	0						

※ 事後聞知とは、火が消えた後に火災があったと通報を受けたものをいう。

火災覚知総数18件



2 救急の概要

令和6年上半期における救急出動件数は1,740件（前年同期より88件減）、搬送人員は1,636人（前年同期より77人減）である。

地域別では、柏原地域、氷上地域、春日地域が減少（前年同期より、柏原地域26件、氷上地域40件、春日地域32件各減）し、青垣地域、山南地域、市島地域がそれぞれ増加（前年同期より、青垣地域2件、山南地域6件、市島地域3件各増）なお、1日の平均出動件数は9.6件となっている。

山南分駐所は24時間体制で運用し、273件（前年同期より4件減）出動している。山東出張所は昼間帯に市島救急駐在所、夜間帯に山東出張所での運用し、併せて401件（前年同期より27件減）出動している。青垣救急駐在所は、週5日（月～金）の昼間帯で運用し、98件（前年同期より1件減）出動している。

救急車による傷病者の市内医療機関（ドクターヘリ含む）への搬送人員は1,249人（76.3%）、市外へは387人（23.7%）で、前年同期の市内収容率（79.6%）と比べ3.3%減少している。

ドクターヘリによる搬送人員は17人で、そのうち公立豊岡病院ドクターヘリが12人（前年同期より4人増）、兵庫県ドクターヘリが5人（前年同期と2人増）搬送しており、兵庫県消防防災ヘリコプターによる搬送については0人（前年同期と同数）である。

年齢別搬送状況では、65歳以上の高齢者が72.7%（1,189人）で、前年同期71.6%（1,226人）より1.1%増加しており、依然として高齢者の占める割合は高い。

覚知から現場到着までの平均所要時間は10.5分（前年同期と同数）、覚知から病院収容までの平均所要時間は42.2分（前年同期と0.3分減）となっている。

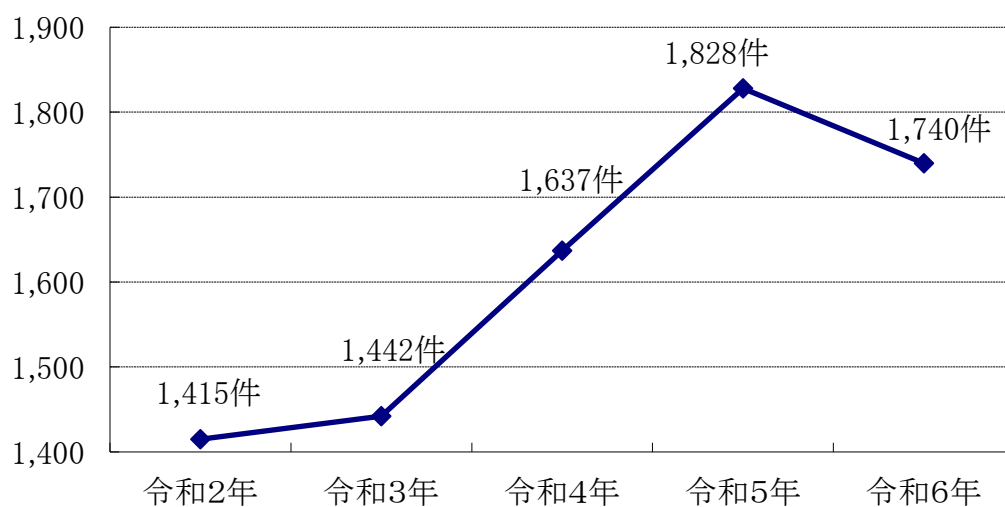
救急隊員が行った応急処置のうち、心肺機能が停止した59人に対して、除細動を3件、救急救命士が行う救命処置として、器具を用いた気道確保を34件（うち気管挿管8件）、静脈路確保の輸液を28件（うち心肺停止前輸液12件）、薬剤投与2件、ブドウ糖投与5件行っている。

舞鶴若狭自動車道への救急出動件数は1件（前年同期より3件減）、北近畿豊岡自動車道への救急出動件数は4件（前年同期より4件減）である。

事故種別救急出動状況

事故種別 \ 年別	令和6年上半期		令和5年上半期		比較増減 (△:減少)	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
総 数	1,740	1,636	1,828	1,713	△ 88	△ 77
火 災	6	3	4	2	2	1
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難事故	1	0	1	1	0	△ 1
交通事故	93	86	112	106	△ 19	△ 20
労働災害	27	26	15	15	12	11
運動競技	15	14	11	11	4	3
一般負傷	266	259	284	273	△ 18	△ 14
加 害	1	1	3	3	△ 2	△ 2
自損行為	13	7	11	8	2	△ 1
急 病	1,158	1,094	1,177	1,097	△ 19	△ 3
転院搬送	145	145	196	196	△ 51	△ 51
その他	15	1	14	1	1	0
1日当り平均出動	9.6		10.1			

5年間(上半期)の救急出動の推移



地域別救急出動状況

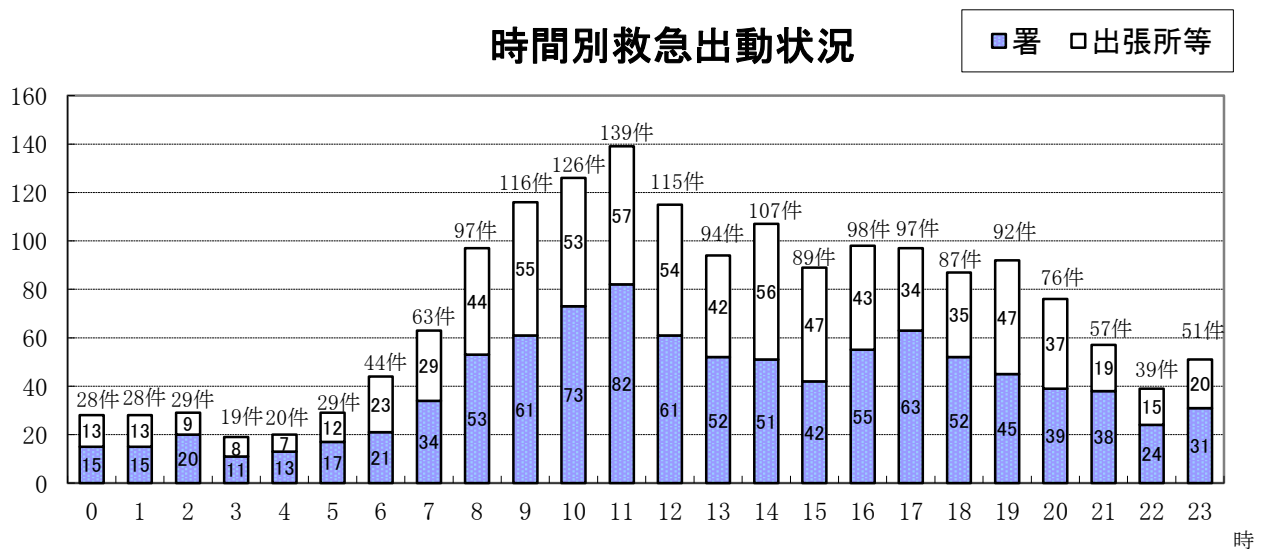
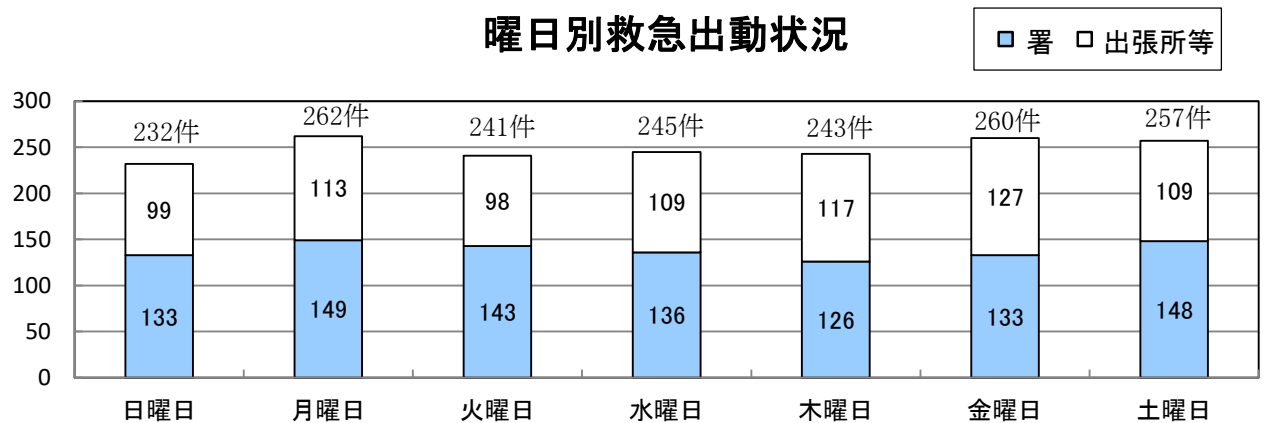
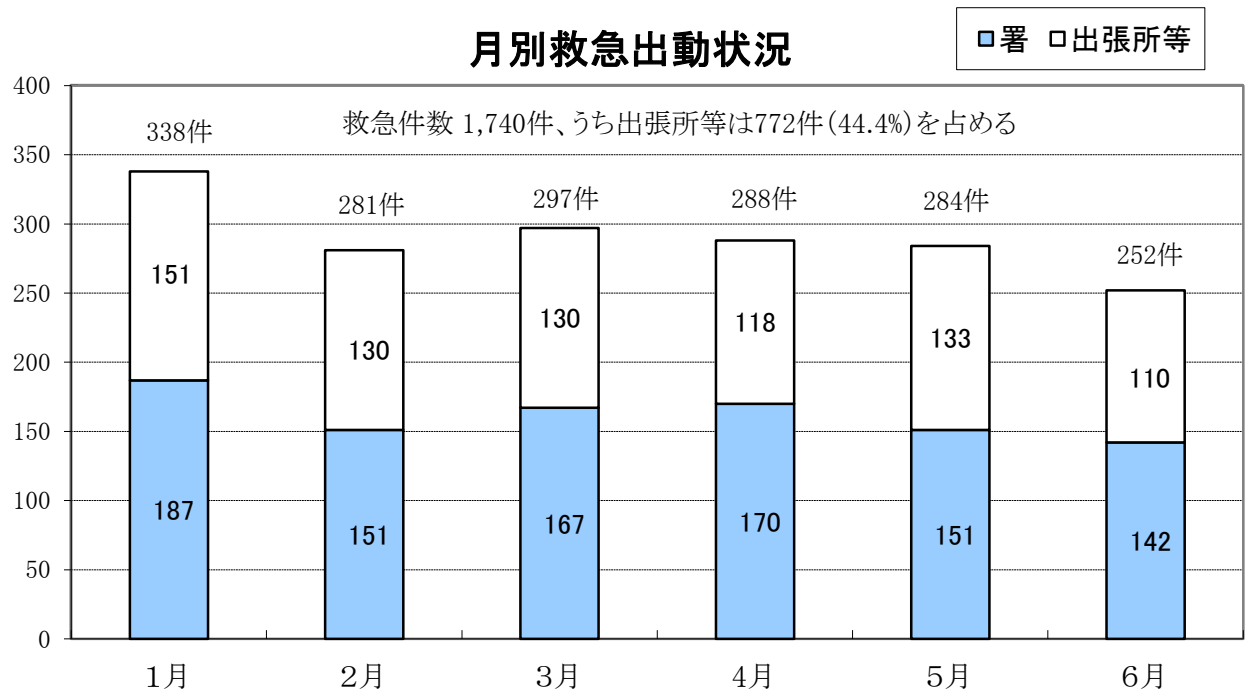
()内はうち数として駐在隊の件数と地域での割合 (単位:件)

年 別 地域別	令和 6 年上半期	令和 5 年上半期	比較増減 (△: 減少)
総 数	1,740 (772件 44.4%)	1,828 (804件 44.0%)	△ 88
柏 原	264 (7件 2.7%)	290 (10件 3.4%)	△ 26
氷 上	508 (41件 8.1%)	548 (43件 7.8%)	△ 40
青 垣	153 (63件 41.2%)	151 (61件 40.4%)	2
春 日	288 (193件 67.0%)	320 (216件 67.5%)	△ 32
山 南	295 (263件 89.2%)	289 (266件 92.0%)	6
市 島	231 (204件 88.3%)	228 (206件 90.4%)	3
市 外	1 (1件 100%)	2 (2件 100.0%)	△ 1

事故種別・救急隊別救急出動状況

(単位:件)

事故種別 救急隊別		総数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その 他
出動件数		1,740	6	0	1	93	27	15	266	1	13	1,158	145	15
救急隊別	署	968	5			56	13	8	142	1	5	619	112	7
	青垣駐在	98				4			9		1	61	23	
	山南分駐所	273	1			17	8		38		3	200	3	3
	市島駐在	200			1	10	6	6	38			130	6	3
	山東出張所	201				6		1	39		4	148	1	2
不搬送件数 (総数の内数である)		111	3		1	14	1	1	7		6	64		14
搬送人員		1,636	3	0	0	86	26	14	259	1	7	1,094	145	1
救急隊別	署	909	2			52	13	7	137	1	3	582	112	
	青垣駐在	89				3			9			54	23	
	山南分駐所	259	1			16	8		38		2	190	3	1
	市島駐在	186				10	5	6	38			121	6	
	山東出張所	193				5		1	37		2	147	1	



山南分駐所
 市島救急駐在所
 山東出張所
 青垣救急駐在所

24時間体制
 昼間帯(8時30分から17時15分まで)
 夜間帯(17時15分から8時30分まで)
 月曜から金曜の昼間帯(8時30分から17時15分まで)

事故種別・傷病程度別搬送状況

(単位:人)

種別 程度別	総数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他
総 数	1,636	3	0	0	86	26	14	259	1	7	1,094	145	1
死 亡	42				2			3		2	34	1	
重 症	217				3	1		38			134	41	
中等症	649				8	11	1	87		4	450	88	
軽 症	728	3			73	14	13	131	1	1	476	15	1
その他	0												

死 亡・・・初診時において、死亡が確認されたもの

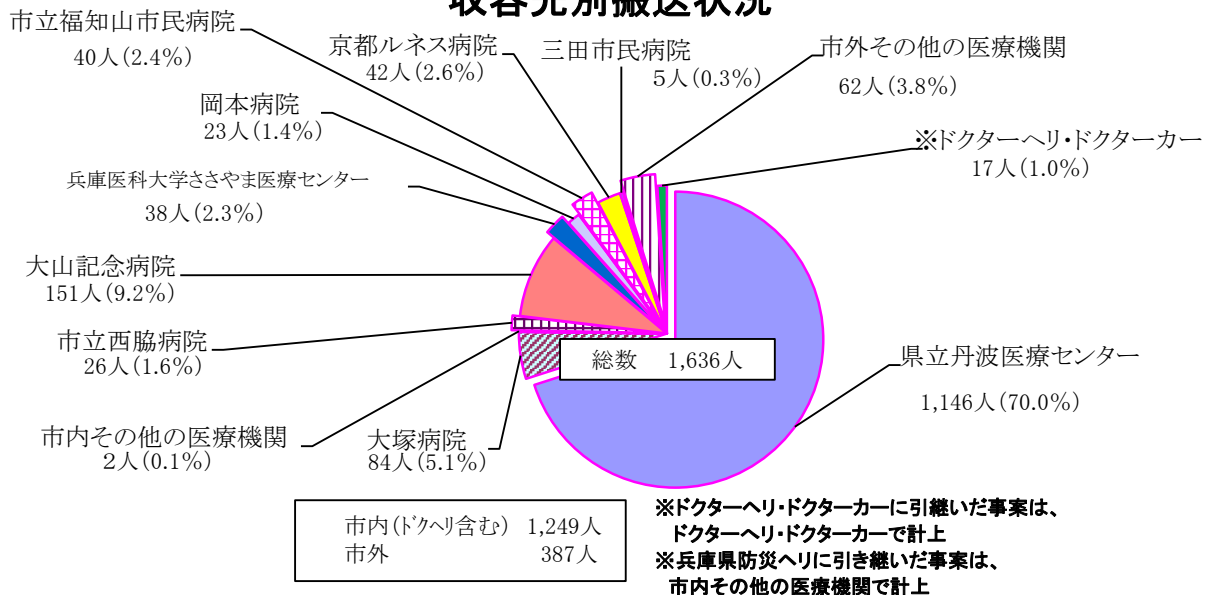
重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症には至らないもの

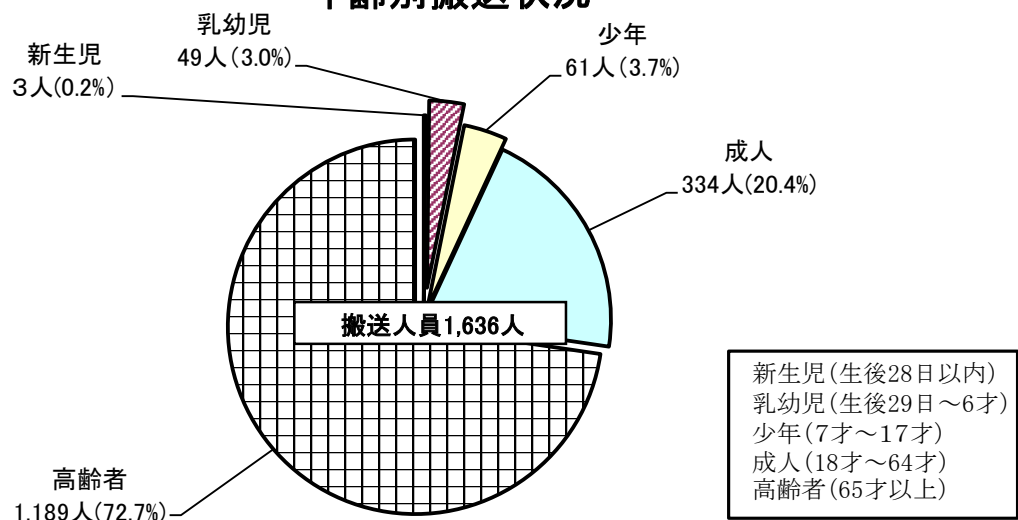
軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他・・・医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

収容先別搬送状況



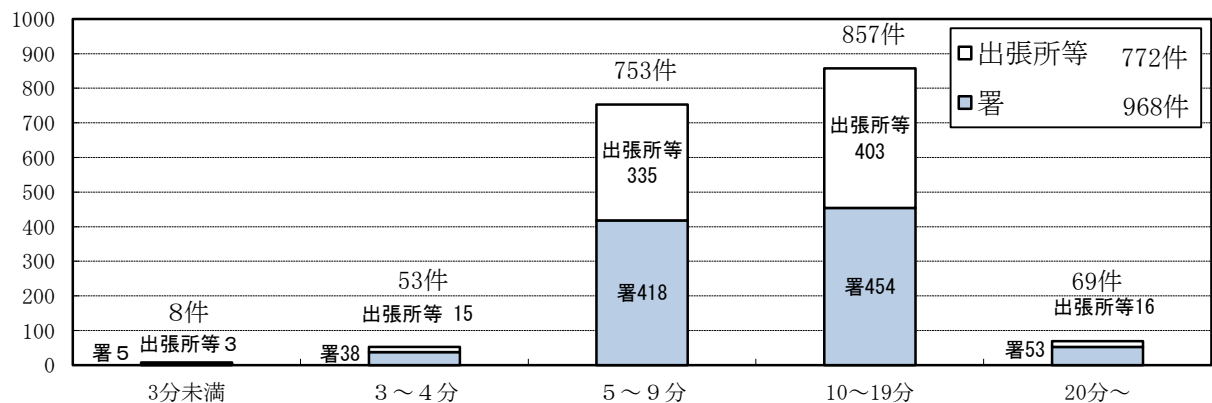
年齢別搬送状況



覚知から現場到着までの所要時間

所要時間	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	1,740	264	508	153	288	295	231	1
現場 まで (件数)	3分未満	8	1	5		2		
	3～4分	53	18	21	8	1	2	3
	5～9分	753	159	254	31	94	135	80
	10～19分	857	86	225	91	179	144	132
	20分～	69		3	23	14	12	16
平均(分)	10.5	8.5	9.5	13.9	11.3	10.7	11.7	22.0
最長(分)	30.0	19.0	23.0	29.0	25.0	30.0	26.0	22.0
最短(分)	1.0	2.0	1.0	4.0	4.0	1.0	4.0	22.0

※現場到着までの所要時間の中には、待機場所以外からの出動又は中継したものを含む。

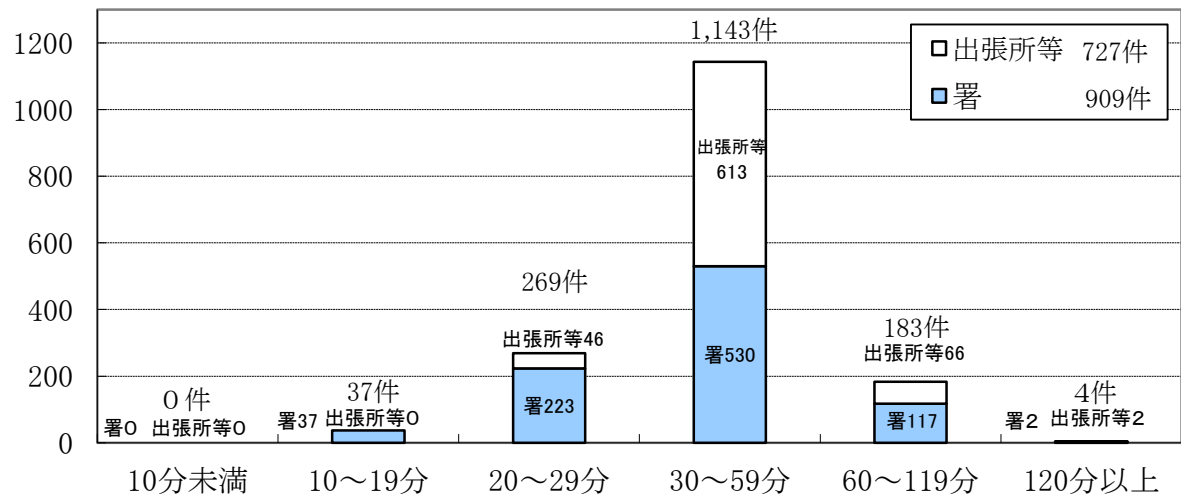


覚知から病院収容までの所要時間

所要時間	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	1,636	247	478	140	273	280	218	0
病院 まで (人数)	10分未満	0						
	10～19分	37	22	15				
	20～29分	269	94	125	9	18	21	2
	30～59分	1,143	116	264	112	231	240	180
	60～119分	183	15	72	17	24	19	36
	120分以上	4		2	2			
平均(分)	42.2	33.3	41.5	48.2	42.9	42.5	48.8	
最長(分)	181.0	94.0	181.0	135.0	107.0	102.0	100.0	
最短(分)	13.0	13.0	15.0	25.0	23.0	22.0	26.0	

※不搬送件数111件である。

※ヘリコプターへの引き継ぎ事案は、傷病者をヘリコプターに収容した時間を病院収容時間として計上している。



応急(救命)処置状況(医療機関等に搬送するまでに行った処置)

(単位:回)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	1,636	1,094	86	259	197
止血	29	3	1	18	7
固定	69	2	38	21	8
人工呼吸	2	1			1
胸骨圧迫	0				
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	0				
心肺蘇生	59	50	2	5	2
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	43	38		4	1
酸素吸入	417	321	10	26	60
気道確保	67	57	2	5	3
(うち、経鼻エアウェイ使用)	0				
(うち、喉頭鏡・鉗子等使用)	1			1	
(うち、リフティングマスク等による気道確保)	26	22	1	2	1
(うち、気管挿管)	8	4		3	1
保温	174	116	8	29	21
被覆	68		8	48	12
在宅療法継続処置	18	18			
ショックパンプ使用	0				
除細動(AED使用)	3	3			
静脈路確保(心肺停止状態の輸液)	16	14		1	1
うち、アドレナリン投与	2	2			
静脈路確保(心肺停止前の輸液) ※1	12	12			
うち、ブドウ糖溶液投与 ※1	5	5			
血糖測定 ※1	38	36		2	
エピペン投与	0				
その他の応急処置	1,575	1,048	82	254	191
血圧測定	1,540	1,027	81	245	187
聴診器による心音、呼吸音の観察	326	243	26	36	21
血中酸素飽和度の測定	1,578	1,048	82	253	195
心電図の測定	1,131	866	34	111	120
合 計	7,129	4,872	374	1,054	829

※1 平成28年2月から運用を開始

心肺停止傷病者発生状況

(単位:人)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
心肺停止傷病者数 ※2	59	50	2	5	2
うち、心拍再開 ※3	1	1			
覚知から現場到着までの所要時間	0～2分	0	0	0	0
	3～4分	1	0	0	0
	5～9分	28	23	2	3
	10～19分	27 (1)	24 (1)	0	1
	20分以上	3	2	0	1
覚知から現場到着までの平均時間(分)	11.1	11.0	8.5	12.4	13.0
覚知から病院収容までの平均時間(分)	34.4	33.7	39.5	36.0	42.5

※2 救急隊現場到着時、心拍再開していた者を除く

※3 ICU・病棟入院があった者で、外来処置室で死亡した者を含まず

() は内数で、心拍の再開を示す。

応急手当の実施状況

心肺停止時の状況			搬 送 者 数（心肺停止傷病者の内訳）			
			AEDの装着		心拍再開	1ヵ月生存者
目撃あり	一般市民による 目撃あり	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし	8			
		バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり ※4	8	2		1
	救急隊・消防隊による 目撃あり		8			
目撃なし	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし		10	1	1	
	バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり		25	5		1
合 計			59	8	1	2

() は内数で、バイスタンダーによる除細動の実施を示す。

※4 救急隊現場到着時、心拍再開していた者を含む

3 救助の概要

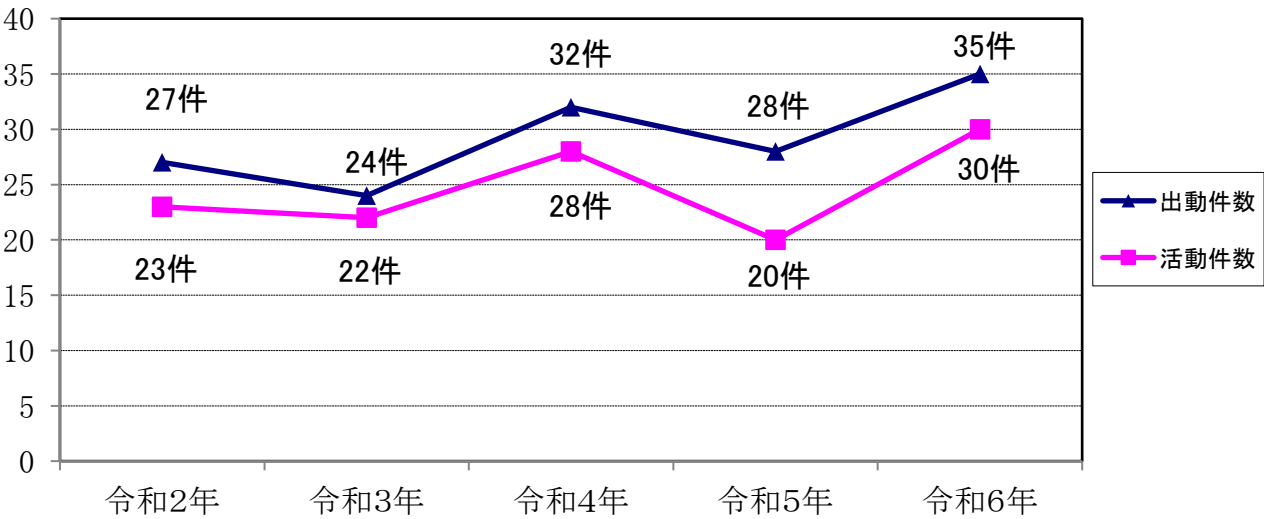
救助件数は35件(前年同期より7件増)で、うち活動件数は30件(前年同期より10件増)となっている。

出動した事故の内訳は、「交通事故」6件、「水難事故」1件、「機械事故」2件、「建物等による事故」19件、「ガス酸欠」1件、「その他の事故」6件である。

救助出動状況

地域別 \ 事故種別		総数	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠	爆発 事故	その 他
			建物	以外								
総 数	出動件数	35	0	0	6	1	0	2	19	1	0	6
	活動件数	30	0	0	5	1	0	2	16	1	0	5
柏 原	出動件数	14			2				10			2
	活動件数	13			2				10			1
氷 上	出動件数	7			1				4	1		1
	活動件数	7			1				4	1		1
青 垣	出動件数	2						1				1
	活動件数	2						1				1
春 日	出動件数	3			1			1	1			
	活動件数	3			1			1	1			
山 南	出動件数	2			2							
	活動件数	1			1							
市 島	出動件数	7				1			4			2
	活動件数	4				1			1			2
市 外	出動件数	0										
	活動件数	0										
救助人員		20			3	1		2	10	1		3
搬送人員		13			3			2	5			3

5年間(上半期)の救助出動の推移



4 その他の災害出動の状況

火災出動、救急出動及び救助出動以外の出動件数。

(単位:件)

地域別 種別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	65	7	19	8	11	17	3	0
警 戒	6		1		2	3		
誤 報	9	2	2	2	2		1	
虚 報	0							
支 援	39	2	14	5	6	10	2	
その他	11	3	2	1	1	4		

分類 ・『警戒』とは、ガス漏れや油漏れ等で火災になる恐れがある場合に出動したもの。

・『誤報』とは、「火災」「火災かも」という通報で出動したが、実際は火災でなかったもの。

・『虚報』とは、「火災」という通報で出動したが、火災に該当する事実がなく、偽りの通報によるもの。

・『支援』とは、活動困難な現場で万全な消防・救護活動等を行えるように支援目的をもって出動したもの。

・『その他』とは、焼却による煙害等、その他の消防目的をもって出動したもの。

5 応援・受援状況

市外への出動隊数と、隣接消防本部等からの受援隊数を次のとおり分類している。

地域別 種別	市外への応援出動隊数							受援隊数
	総 数	丹波篠山市	西脇市	多可町	朝来市	福知山市	隣接外	市 域
総 数	1	1	0	0	0	0	0	3
火 災	0							2
救 急	1	1						1
救 助	0							
その他	0							

6 緊急通報センター等

・緊急通報システムの端末機設置台数は、6月30日現在312台で、前年より30台減である。

・緊急通報システムによる緊急通報は9件(前年同期より5件減)で、救急車が出動し搬送した件数は8件である。

・聴覚障がい者等緊急通報システム(Net119)による救急通報件数は0件、登録者は21名、FAXシステムの登録者は3名で、救急通報はなかった。

地域別 区分	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
緊急通報	9			2	3	4	
緊急外通報(相談等)	19			16	1	1	1
緊急外通報(停電・うっかり押し)	36	3	6	4	13	5	5
管理	65	1	16	4	18	14	12
設置台数	312	25	48	33	61	74	71



令和 6年 8月作成

丹 波 市 消 防 本 部

T E L 0795-72-2255

F A X 0795-72-1155